

第20回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会学術集会
一般演題採択について(3月28日現在)

今回すべてのご応募を「口演」で採択いたしました。
発表時間 口演5分、質疑3分(計8分)

演題受付番号	会場	時間	セッション	テーマ	演題番号	演題名
jspuk004-00004	C会場	10:00~10:55	一般演題 口演1	予防環境整備	01-1	A病院の褥瘡対策の課題
追加提出6					01-2	A病棟における褥瘡予防の取り組み
jspuk004-00018					01-3	仙骨部・尾骨部チェックシート導入でみてきた尾骨部褥瘡予防への課題
jspuk004-00012					01-4	A病院における褥瘡専任看護師による褥瘡予防ケアの実際 ～褥瘡予防ラウンドを通して～
jspuk004-00015					01-5	回復期リハビリテーション病棟における褥瘡発生患者の分析と発生予防策の検討
jspuk004-00014					01-6	外科病棟看護師の創傷被覆材マニュアル作成と評価
jspuk004-00005	C会場	11:00~12:00	一般演題 口演2	スキン-テア、外科	02-1	手術室におけるスキン-テア予防策の取り組み
jspuk004-00009					02-2	当院の皮膚裂傷(スキンテア)事例の分析
追加提出4					02-3	皮膚チェックシートを活用した褥瘡・スキン-テア予防の取り組み
追加提出7					02-4	A病院における血管外漏出・血管炎への取り組み報告
追加提出3					02-5	両下肢切断を伴う全身熱傷後の褥瘡ケア ～多職種連携で功を奏した一症例～
jspuk004-00010					02-6	皮下ポケットを有する褥瘡感染に対するVAC療法を含む管理が奏功した症例
jspuk004-00011					02-7	治癒困難であったトンネル様褥瘡に対し切開・洗浄・縫合閉鎖を行った症例
jspuk004-00006	C会場	13:30~14:25	一般演題 口演3	除圧、MDRPU	03-1	ポジショニングピロー導入前後の新規褥瘡発生数の比較とポジショニングに対する意識調査
jspuk004-00008					03-2	ICUにおける褥瘡予防ケアの標準化に向けた取り組みの効果
追加提出5					03-3	褥瘡エアマットレス適正使用に向けた取り組み ～一元管理化開始の現状と今後の課題～
jspuk004-00016					03-4	下肢にできたDTI～反省を踏まえて～
追加提出2					03-5	HTLV-1関連脊髄症患者に生じた仙骨部褥瘡の1例
追加提出8					03-6	長時間腹臥位手術により顔面に医療関連機器圧迫創傷を生じた1例
jspuk004-00020	C会場	16:00~17:00	一般演題 口演4	在宅、栄養他	04-1	クラスター状況下における心身合併症病棟での褥瘡対策介入方法の再構築
jspuk004-00021					04-2	在宅における褥瘡管理で、より良い多職種チームを編成するための過程と今後の課題について
jspuk004-00017					04-3	在宅診療・地域医療機関と大学病院とのシームレスな連携を目指す我々の取り組み
追加提出1					04-4	皮膚の「洗浄・保湿・保護」を基盤とした研修会
jspuk004-00007					04-5	食事のこだわりが強く摂取量が安定しない褥瘡患者に対して栄養介入を行った一例
jspuk004-00019					04-6	本人・家族の思いを尊重し、ライフスタイルを変えることのない褥瘡管理を目指して
jspuk004-00013					04-7	ポピドンヨード製剤外用による甲状腺機能低下症